

## 検体検査 内容変更のお知らせ

(SP-D・コルチゾール・AMH・P-III-P・DPD・STN・HBV-PreC/CP)

24-006 (2024 Mar.)

サポートライン  
2147

このたび、掲題の検査項目(外注)について、検査内容を変更いたします。

診療科のみなさまには、ご理解いただきますようお願いいたします。

**2024年 4月 1日(月)以降 提出分より**

- 内容変更項目
  - ：肺サーファクタント蛋白D(SP-D)
  - ：コルチゾール[尿]
  - ：抗ミュラー管ホルモン(AMH/MIS)
  - ：プロコラーゲン-III-ペプチド(P-III-P)
  - ：デオキシピリジノリン[尿]
  - ：シアルルTn抗原(STN)
  - ：HBウイルス-PreC/CP
- 検査場所
  - ：LSIメディエンス

検査項目	変更内容	変更後	変更前
肺サーファクタント蛋白D (SP-D) (6411 / 3F253)	検査方法	LA	CLEIA
コルチゾール[尿] (6204 / 4D040)(6205 / 4D040)	保存安定性期間	尿上清を 冷蔵で14日	尿上清を 冷蔵で12週
抗ミュラー管ホルモン(AMH/MIS) (1241 / 4F100)	保存方法 保存安定性期間	血清を 凍結で6月	血清を 冷蔵で21日
プロコラーゲン-III-ペプチド(P-III-P) (1345 / 4F100)	検査所要日数	3～6日	2～3日
デオキシピリジノリン[尿] (6206 / 5C146)	検査方法	CLEIA	EIA
	報告成分	DPD濃度 DPD / Cr Cr濃度	DPD濃度 DPD / Cr
	検査所要日数	2～4日	3～5日
	保存安定性期間	尿を冷蔵で7日	尿を冷蔵で6週
シアルルTn抗原(STN) (1353 / 5D153)	検査所要日数	3～8日	2～3日
HBウイルス-PreC/CP (6405 / 5F037)	検査所要日数	8～12日	7～9日

検査部：増田 (PHS：2144) ・山本 (PHS：82030) ・西山 (PHS：2141)

京都大学医学部附属病院検査部

<https://clinical-lab.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>

kensa@kuhp.kyoto-u.ac.jp

KU:P



一次サンプル  
採取マニュアル

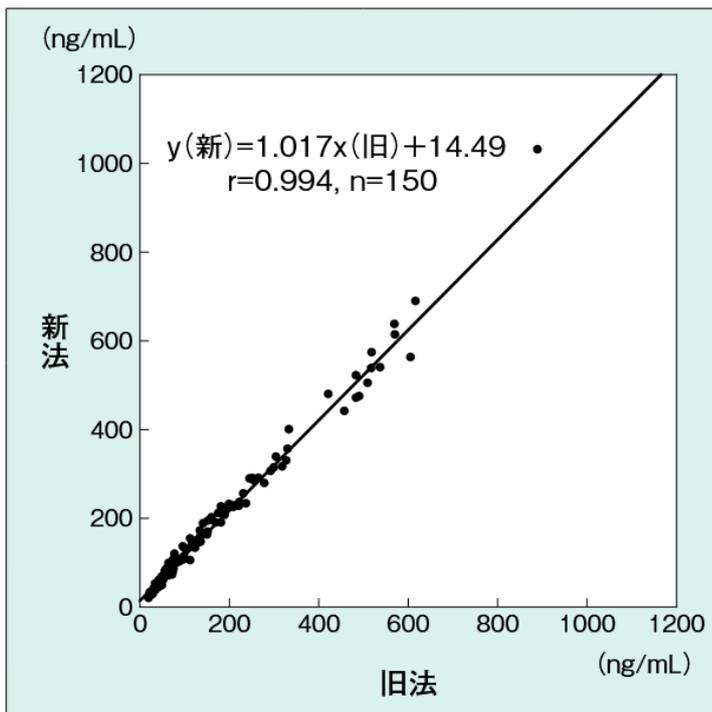
## 肺サーファクタント蛋白D(SP-D)

サポートライン  
2147

肺サーファクタント蛋白D(SP-D)の検査試薬をCLEIA試薬からLA(ラテックス凝集比濁法)試薬に変更いたします。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はありません。

検査項目	変更内容	変更後	変更前
肺サーファクタント蛋白D (SP-D) (6411 / 3F253)	検査方法	LA	CLEIA

## ● 新旧二法の相関



LSIメディエンス検討データ



# デオキシピリジノリン[尿]

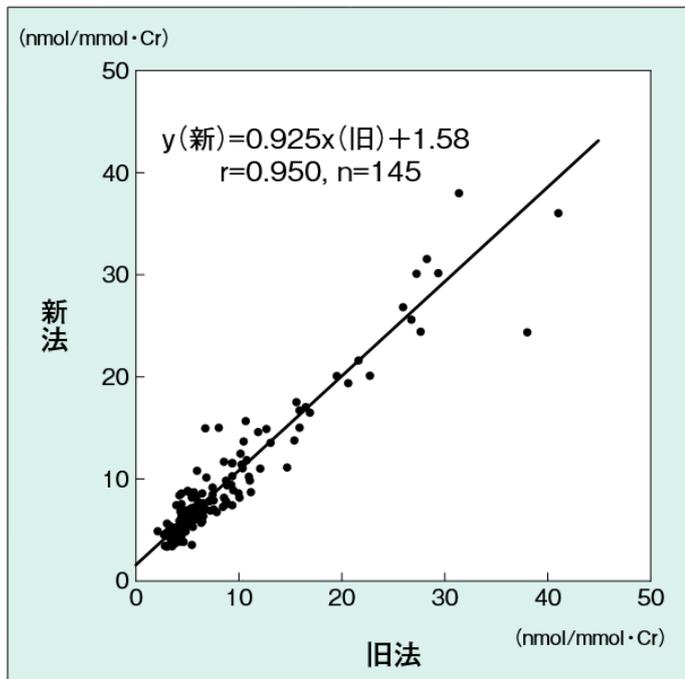
サポートライン  
**2147**

デオキシピリジノリンの検査試薬をEIA試薬からCLEIA試薬に変更し、報告成分としてクレアチニン補正に用いたクレアチニン濃度も併せて報告します。新旧二法の相関は良好で、基準値の変更はありません。また、検査所要日数を短縮いたします。

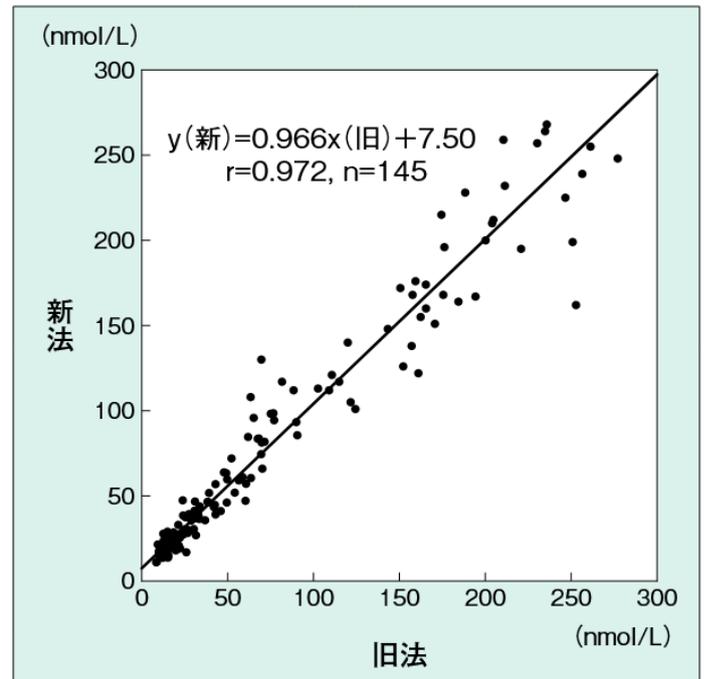
検査項目	変更内容	変更後	変更前
デオキシピリジノリン[尿] (6206 / 5C146)	検査方法	CLEIA	EIA
	報告成分	DPD濃度 DPD / Cr Cr濃度	DPD濃度 DPD / Cr
	検査所要日数	2 ~ 4 日	3 ~ 5 日
	保存安定性期間	尿を冷蔵で7日	尿を冷蔵で6週

## ● 新旧二法の相関

[クレアチニン補正值]



[デオキシピリジノリン濃度]



LSIメディエンス検討データ

